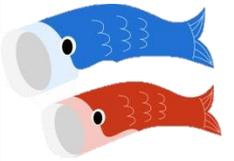




父母と学ぶ会だより

NO. 32 研修報告号～H29年5月発行



世界自閉症啓発デー2017・静岡

平成29年3月19日 静岡県総合福祉会館シズウェル

毎年4月2日は国連が定める「世界自閉症啓発デー」です。自閉症協会の講演会とシンポジウムに参加しました。

研修報告①

第1部 自閉症スペクトラムの理解と高齢期の支援

講師 志賀 利一氏



高齢期になって気をつけなければならないこと。

- **誤嚥性肺炎**
誤嚥性肺炎を防ぐには、食形態を変えること（刻み食、ミキサー食）
食事前後のオーラルケアまた、喉つめ時の応急処置等の介護技術が必須になってきます。
- **転倒による骨折**
体幹バランスの不安定、関節可動域の減少、筋力低下による転倒のリスク。骨粗鬆症による骨折のリスクも高まります。施設内においては、若い障害者と一緒に生活することにより、日中活動の日課が年齢にマッチしていない、行動障害のある人からのリスクが考えられます。
- **認知症**
知的障害者の多くは、認知症の初期症状を見逃し気味と言われているため阻害薬等の投薬の時期を逸してしまうことがあります。また睡眠障害、食事の好みの変化、排泄の失敗等で気づくこともあります。

ゆいまあるでも20年後、30年後には50代、60代が中心になってきます。高脂血症、高血圧、糖尿病などの発症率も高くなってきます。

定期的な健康診断、適度で継続的な運動も取り入れていかなければならないと思います。

（文責 池田 浩）



第2部

家庭における生活の組み立て（幼児期から成人期）

施設内研修報告②

講師 中山 清司氏

今回家庭における生活の組み立て方として中山清司氏から家や学校で、小さい頃から心がけていただきたい事について勉強させていただきました。

一つ目として、すぐに叱らず、褒めることが大切になります。出来ない事があるとつい叱ってしまいます。叱る事によって子供は、何事にもやる気をなくしてしまいます。

すぐに叱るのではなく、見守る事や具体的に伝える事が必要になってくると思います。そして出来た時は、たくさん褒めてあげる事が子供の成長に繋がってくると思います。

二つ目は、「Work→Play」の関係も必要になります。「Work→Play」とは、見通しが立てられる場所となっています。Workは勉強エリアを表しています。Playは遊びエリアとなっています。順番はどちらでも構わないので子供に選ばせてあげましょう。最初遊びなら時間を決めてから遊ばせて下さい。時間になったら勉強エリアに移動させて勉強します。

場所を分ける事によって見通しが立てられやすくなります。子供は見通しが持てることで、安心し、自立して行動出来るようになります。

（文責 久保田 湧麻）

